

消化器・肝臓センター



NEW一す NO. 35



2018.5

本当は“こわい” 胆石症・急性胆嚢炎・胆管炎

胆石症・急性胆嚢炎・胆管炎

全国調査では成人の約10%(1200万人以上)に胆石を認め頻度がきわめて高い病気です。無症状の人も多くあまり重篤な疾患のイメージはなく放置している人もたくさんいます。しかし、無症状の人でも毎年2~4%が何らかの症状を表すとされ放置すれば激しい胆石発作、急性胆嚢炎・胆管炎をきたし入院治療が必要となります。重症化すれば敗血症や黄疸・肝機能障害を起こし命に関わる危険があり、また胆嚢癌が混在することもあり“こわい”一面があります。2013年改訂の急性胆管炎・胆嚢炎診療ガイドラインによれば72時間以内の早期腹腔鏡下胆嚢摘出術が推奨されています。

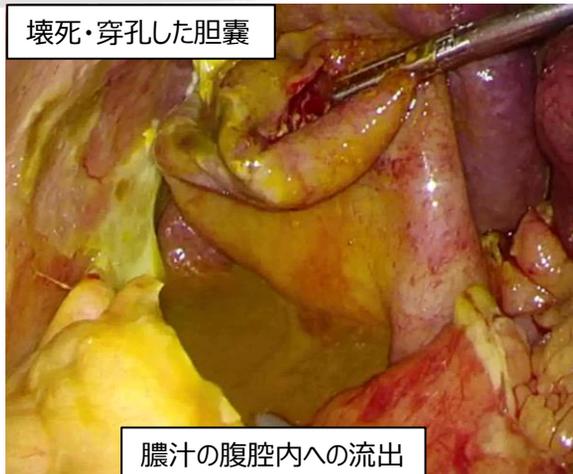
市立貝塚病院では外科と消化器内科が密に連携し消化器・肝臓センターを開設しており、胆石症・急性胆嚢炎・胆管炎発症時には、外科での迅速な腹腔鏡下胆嚢摘出術はもちろんのこと、経皮経肝胆嚢ドレナージ (PTGBD) や逆行性膵胆管造影 (ERCP) やといった特殊な処置・内視鏡検査を行って早期診断・治療に努めています。4月より近畿大学医学部 内視鏡外科教授 今本治彦先生が新院長に着任され、内視鏡手術はもちろん消化器・肝臓センターのさらなる充実が期待されます。胆石があるといわれた方は、ぜひ当院へお気軽にご相談ください。

急性壊疽性胆嚢炎 (緊急腹腔鏡下胆嚢摘出術)

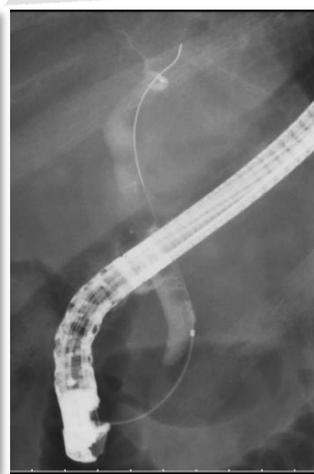
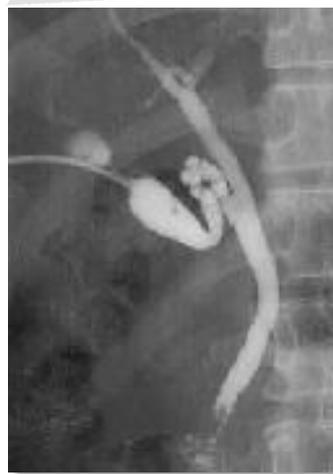
急性胆嚢炎-PTGBD

急性胆管炎-ERCP

壊死・穿孔した胆嚢



膿汁の腹腔内への流出



(市立貝塚病院 外科 主任部長 金 鏞国)

市立貝塚病院 外科に新しいスタッフの先生が加わりました

《 自己紹介 》

4月に市立貝塚病院 外科に赴任しました谷崎慶子です。消化器癌やヘルニアなど積極的に見たいと思っていますのでご紹介よろしくお願ひいたします。地域の先生方とともに、貝塚病院の外科をさらに盛り上げていきたいです。

市立貝塚病院

TEL : 072-422-5865

